

参考：兵庫県内の温室効果ガスの排出量（1999年度）

温室効果ガスの総排出量

1999年度（平成11年度）の兵庫県における温室効果ガスの総排出量は、二酸化炭素に換算して約7,585万トンで、前年度の7,516万トンと比べ約70万トンの増加となっています。（表）

「新兵庫県地球温暖化防止推進計画」の基準年度である1990年度（平成2年度）の排出量約7,303万トンと比べ、約3.9%の増加となっています。

新計画の目標（1990年度の排出量から6%削減）である2010年度（平成22年度）の排出量約

6,862万トンを達成するためには、1999年度の排出量からさらに9.9%削減する必要があります。

なお、1999年度の全国の温室効果ガス総排出量は13億700万トンであり、兵庫県はその約5.8%を占めています。

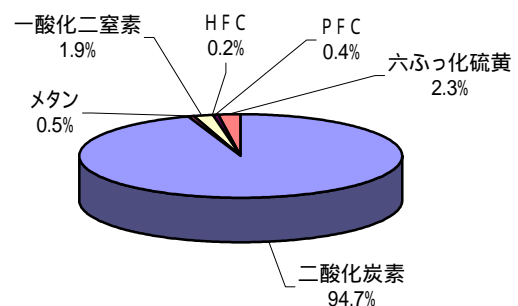
京都議定書で削減の対象となった温室効果ガスには、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF₆）の6種類のガスがありますが、兵庫県内で排出された温室効果ガスのうち94.7%は二酸化炭素が占めています。（図）

表 温室効果ガス排出量

（単位：kt - CO₂）

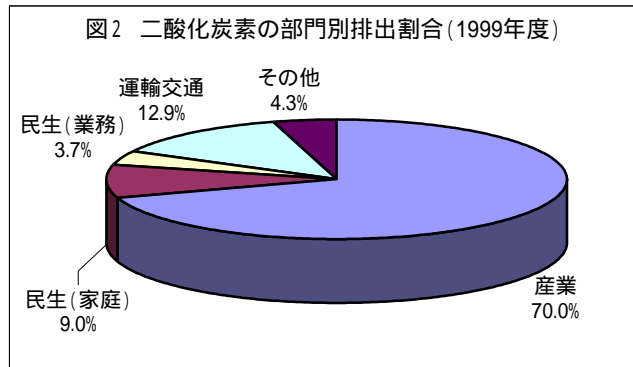
部 門		1990	1996	1997	1998	1999	2010
二酸化炭素	産業	47,670	50,945	52,228	49,793	50,319	40,487
	民生(家庭)	5,991	6,788	6,417	6,254	6,482	7,898
	民生(業務)	2,490	2,948	2,643	2,646	2,670	3,184
	運輸交通	8,613	10,196	9,832	9,436	9,306	9,178
	その他	3,476	3,714	3,143	2,822	3,111	2,385
	二酸化炭素排出量	68,240	74,591	74,263	70,951	71,888	65,022
	森林吸収		-25	-29	-37	-41	-82
	二酸化炭素差引排出量	68,240	74,566	74,234	70,914	71,847	64,940
メタン (CH ₄)		383	373	352	346	375	314
一酸化二窒素 (N ₂ O)		1,288	1,408	1,459	1,419	1,448	1,675
ハイドロフルオロカーボン (HFC)		116	172	143	150	158	1,102
パーフルオロカーボン (PFC)		229	291	258	282	285	152
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		2,777	2,870	2,216	2,045	1,737	438
総排出量		73,033	79,680	78,662	75,156	75,850	68,620

図 温室効果ガスの種類別排出割合

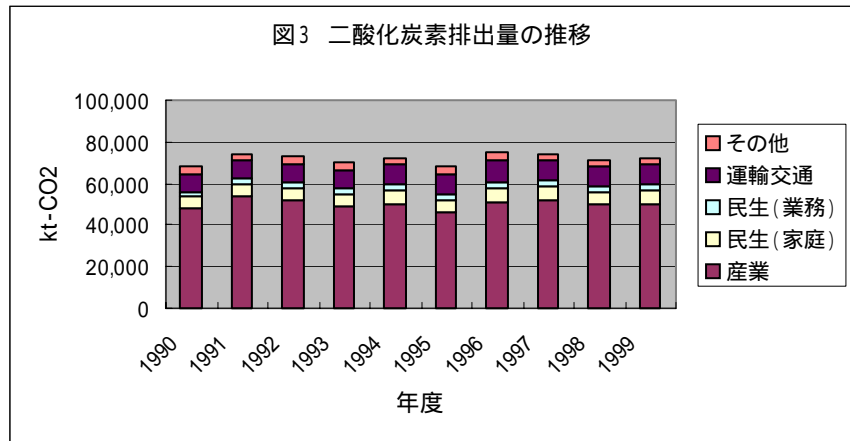


2 二酸化炭素排出量

温室効果ガスのうち、排出量が最も多い二酸化炭素の1999年度の排出量は7,189万トンとなっています。部門別では、産業部門が70.0%、運輸交通部門が12.9%、民生（業務）が3.7%、民生（家庭）が9.0%などとなっています。（図2）



兵庫県内における排出量は、1991年度以降、1990年度に比べ3.2～9.3%増加の範囲で推移しています。（図3）



なお、1999年度の二酸化炭素排出量は前年度より約94万トンの増加となっており、1990

年度に比べると5.3%の増加となっています。

3 エネルギー消費

二酸化炭素排出の最も大きな要因となるエネルギー消費は、1990年度以降増加傾向にあり、1999年度は1990年度と比べて17.0%増加しています。

部門別には、産業部門では13.6%、運輸交通部門では11.2%の増加にとどまっていますが、民生（業務）部門が46.0%、民生（家庭）部門が34.3%と増加率が大きくなっています。（図4）

